

防錆剤一覧表

製品名		当社防錆剤								水溶性防錆剤		備考
		M-G (BM)	N-G	N-40	ABT	PBT	MB	EUR	BUR	PMT	PMT-2	
防食効果	軟鉄	○	○	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎: 防食性良
	鑄鉄				◎	◎		○	○	◎	◎	○: 防食性有り
	銅・黄銅	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	
	はんだ	◎	○	○	○	○						
	亜鉛	○				○						
	アルミ・アルミ合金					◎				◎	◎	アルミ合金(JISH4000 A5052P)
1)	マグネシウム合金				○		◎					マグネ合金AZ91D
2)	ニッケルめっき					◎						
	スズめっき				◎	◎						
	金・銀めっき	◎	○	○	○	○						
性状	融点	≥ 173℃	≥ 280℃		≥ 150℃	≥ 140℃	≥ 285℃	≥ 70℃	≥ 68℃			
	pH(25℃)			11~12						8~9	8~9	
	熱分解温度(℃)	260			212	179	310	199	203			
溶解性(%)	水	× 0.03	○52.4	○40	× 0.03	× 0.01	×	○4.45	△	○50	○50	
	メタノール	○4.1	○53.4	○	○3.1	○2.3	○	○36.7	○	○	○	
	エタノール	○4.1	○	○	○3.3	○2.8	○	○34.4	○	○	○	
	エチレングリコール	○	○	○	○1.5	○6.8	○	○	○	○	○	
	アセトン	○13.1	○	○	○5.4	○6.2	○	○69.7	○27.2	○	○	
	アセトニトリル	○	○	○	○	○1.6	○	○	○	○	○	
	酢酸エチル	○	○	○	○	○2.2	○	○	○	○	○	
	ヘキサン	× 0.002	×	×	× 0.01	× 0.02	×	× 0.04	× 0.02	×	×	
	ペンゼン	△0.4	×	×	△0.13	△0.12	△	○5.2	○3.9	×	×	
	トルエン	△0.5	△	×	△0.08	△0.11	△	○1.4	○1.2	×	×	
	BDG	○	○	○	○	○5	○	○	○	○	○	
	THF	○	○	○	○	○10	○	○	○	○	○	Tetrahydrofuran
	DMF	○	○	○	○	○33	○	○	○	○	○	N,N-Dimethyl Fomamide
	DMI	○33	○	○	○32	○33	○	○	○	○	○	1,3-Dimethyl-2-Imidazolidinone
用途	冷却液(不凍液等)	◎	◎	◎	◎	◎	◎					EG30~50%使用、 LLC化、pH7~9、鉄・銅・ハンダ用
	ブレーキ液	○			○	○	○					200℃以上耐熱性
	潤滑油	○			○	○	○			○	○	200℃以上耐熱性
	可塑剤・グリース	○			○	○	○					
	金属加工油剤 (切削油・圧延油)	◎	○	○	◎	◎				◎	○	水溶性化 鉄・銅用
	めっき変色防止剤 (金・銀・銅・スズ・ ニッケルめっき添加剤)	◎	○	○	◎	◎		◎		○	○	150~300℃耐熱性要求 金属封止剤
	水溶性防錆剤 及びその原料	○	○	○	○	◎				◎	◎	屋内用一時防錆剤
	エッチング液(酸洗添加剤)	◎			○	○	○	◎	◎			鉄鋼酸洗、プリント配線板等
	塗料添加剤	○	○	○	○	◎				◎	○	水性塗料等
	化学研磨剤	◎			○	○						SUS、ニッケル合金等
	金属捕集剤	◎	◎	◎	○	○						重金属廃棄物処理
	医薬中間体原料	◎			○	○						特許事例あり
	防腐剤	○				○						
	ゴム薬品	◎	◎	◎			◎	◎	◎			加硫促進剤
	電子材料(樹脂関係)	◎			○	○	○	○				機能性向上剤
	燃料電池用 固体高分子電解膜用 原料	○					○					特許事例あり

M-G: 2-メルカプトベンゾチアゾール

<参考文献> 1) 赤司澄夫・堀正、防錆管理(日本防錆技術協会)、Vol35、No.12 (1991) 2) 2.古藤田哲哉、貴金属めっき(槇書店、1992)、p.168

注) 本資料の記載のデータおよび事項は細心の注意を払って行った試験に基づくものですが、実際の現場結果を確実に保証するものではありません。